

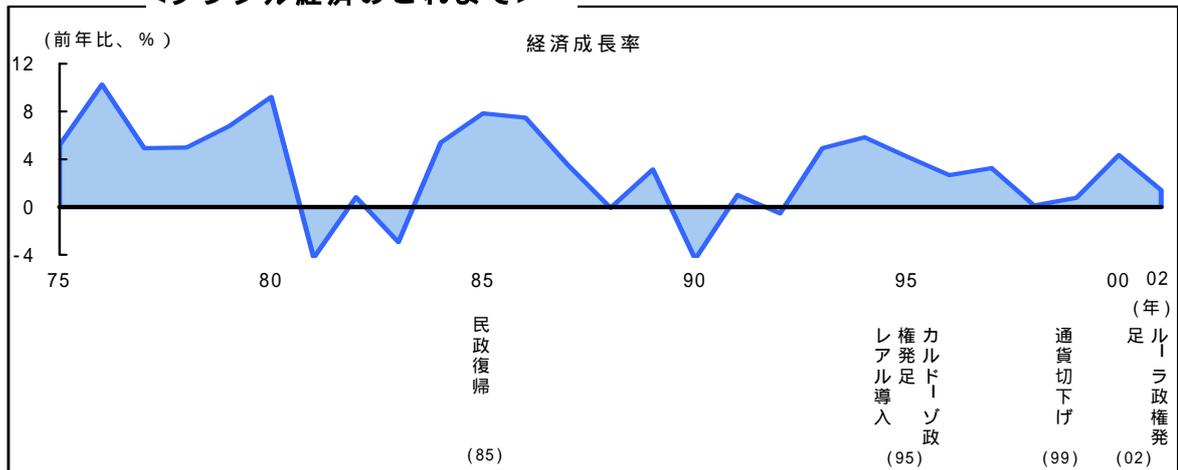
21 ブラジル

Brazil

<2002年>

人口	1億7,463万人 (日本の約1.4倍)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	2,583ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 7.7% 2次産業 35.5% 3次産業 56.7%	通貨	レアル 1米ドル = 2.921レアル
		面積	851.2万km ² (日本の約22.5倍)

<ブラジル経済のこれまで>



ブラジルの主要経済指標

		90年代 (91～00年)	2001年	2002年	2003年			
					中央銀行	O E C D	I M F	民間機関
実質GDP	前年比%	2.7	1.4	1.5	2.0	2.0	2.8	実質GDP
鉱工業生産	同上	2.0	1.6	2.4	-	-	-	平均 2.1
消費者物価	同上	549.2	6.8	8.5	-	14.0	14.0	最大 2.6
失業率	%	5.9	6.2	7.3	-	-	-	最小 1.4
経常収支	億米ドル	153.2	232.1	77.6	-	5.0	-	(23社)
(GDP比)	%	(2.2)	(4.0)	(1.7)	-	(1.1)	-	
財政収支	億米ドル	43.3	49.4	107.1	-	-	-	
(GDP比、年度)	%	(0.7)	(1.0)	(2.4)	-	-	-	
政府債務残高	億米ドル	1,135	1,775	1,588	-	-	-	
GDP比、年度末)	%	(18.1)	(32.8)	(35.6)	-	-	-	

(出所) ブラジル中央銀行、ブラジル地理院、IMF "International Financial Statistics"、見通しのOECDは "Economic Outlook" (2003年4月)、IMFは "World Economic Outlook" (2003年4月)。

<2002～2003年の経済>

2002年の経済成長率は年後半から輸出や工業生産が増加し、2001年(1.4%)とほぼ同じ1.5%となった。

2003年には、2.0%程度の経済成長が見込まれる(政府見通し2.0%、民間機関23社の平均2.1%)。下方リスクとしては、左翼であるルーラ政権が内外から信用を得られないこと等により、ブラジル国内の投資が流出する場合は考えられる。また、レアル安によるインフレ懸念や世界的な景気減速にともなう輸出の減少、隣国アルゼンチンの経済破綻の影響なども下方リスクとなっている。

なお、昨年秋以降高まってきているインフレ率抑制のため、金融引締めが実施されており、それが経済成長を抑制することがないが注視されている。